

トマトを露地栽培されている皆様へ
トマト黄化葉巻病対策に御協力をお願いします！

昨年12月に府南部のハウス栽培のトマトに「トマト黄化葉巻病」(ウイルス病)が発生しました。

これから、露地のトマトにも発生する時期(5月～9月)になります。健全なトマトにうつさないようお互いに注意してください。

病気による被害を防ぐためには、感染のもとを断つことと、ウイルスを媒介するシルバーリーフコナジラミの防除を、地域ぐるみで行うことが大切です。

症状 この病気にかかったトマトは頂葉の縁が黄色くなって葉の表側に巻き、萎縮して生育が止まります。また、先端には実が着かないことがあります。

伝染 シルバーリーフコナジラミという小さな害虫(体長約1mm)が、トマトからトマトへ病気をうつします。



トマト黄化葉巻病の症状



シルバーリーフコナジラミ
(成虫)



(幼虫)

防除のポイント

病気のトマトは伝染源となるため、抜き取り処分しましょう。

感染すると、農薬を散布しても治りません。シルバーリーフコナジラミを介して近くのトマトへ病気が広まってしまうので、発病した株は抜き取り、袋に入れ密封して枯らすか、土中に埋めて処分してください。

シルバーリーフコナジラミを防除しましょう。

同一系統の薬剤の連用は薬剤感受性の低下につながりやすいので、系統の異なる薬剤を組み合わせたロ-テーション防除を実施してください。

粒剤は長期的にシルバーリーフコナジラミを防除します。

薬剤の使用に当たっては、農薬のラベルに表記された使用基準を必ず守ってください。

収穫が終わったトマトも感染し、伝染源となる可能性があるため、放置せず、処分しましょう。

袋に入れ密封して枯らすか土中に埋めて処分してください。

その他

- ・ミニトマトも同じ処置をする。
- ・健全な苗を購入する。
- ・害虫の住み家となる雑草を刈り取る。

ご不明な点があれば、病害虫防除所又は最寄りの農業改良普及センターにご連絡ください。

発信：京都府病害虫防除所
(亀岡市余部町和久成9)

TEL：0771-23-9512

HP：<http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>